

令和4年11月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

11月は、ウイズコロナへの対応が進み、「全国旅行支援」等の景気刺激策もあって、製造業・非製造業ともに売上・受注は好転しているが、原材料費や電気料金等の高騰が続き価格転嫁が追い付かず、収益が悪化している業種が多い。

また、受注等は好転しても従業員の確保が困難であることや、今後も原材料費等の高騰は続くと予測されることから、景況DI値は小幅な改善にとどまっている。

さらに、コロナ感染者数は再度増加傾向にあり、また、コロナを機に従来のビジネスモデルが通用しなくなったとの声もあるなど、先行き不透明感への懸念が続いている。









山口県の主要指標 DI 値（令和4年11月末現在）


※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。


業界の景況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：7.5% 悪化：35.0% DI 値：▲27.5% ポイント
売上高	(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、増加：17.5% 減少：26.3% DI 値：▲8.8% ポイント
収益状況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：2.5% 悪化：42.5% DI 値：▲40.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和4年11月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
----------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲37.5	▲50.0	▲100.0	▲50.0	▲33.3	11.1	0.0	▲28.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲40.0	▲50.0	▲40.0	▲9.1	▲36.4	▲14.3	▲100.0	▲27.0
							

全 体
▲27.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>全国旅行支援の地域クーポン利用が増加し、観光地や公共交通売店を中心に販売している組合員の売上がコロナ前の 90%に戻った。一方、地域クーポンの利用登録はしたものの、顧客の利用がほとんどない組合員もいる。原材料や包装資材の値上げは止まらず、厳しい収益状況が続いている。</p>	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	<p>原材料の値上げ要請や電気・ガス料金の高騰が続き収益を圧迫している。</p>	パン・菓子製造業 下関市
	<p>水産加工原料の水揚げが激減してきた。人手不足。若者の食習慣が大きく変化し、干物を焼いて食べる事を面倒に感じる人が増えた。</p>	水産食料品製造業 長門市
	<p>コロナ禍での業況だが、冬季が繁忙期の企業が多いため、忙しくなっている模様。入国制限が緩和され外国人技能実習生の入国が始まり生産量等の回復は見込めるが、最低賃金の大幅な引き上げがどう収益に影響するか注視している。全国旅行支援等の影響か、昨年より商品の動きは良い模様。ただ去年の数字を参考に準備した企業は、予想以上の動きで、材料や資材の手配が一部間に合っていない商品もある。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>大きなイベントが復活し、注文数が前年同月比 80%近くまで伸びてきた。在庫が増え資金繰りにも苦慮する時期にも拘らず、資金繰りが好転している。この好調を維持していきたいが、コロナ第 8 波が気になるところである。一層の感染防止に努めていきたい。</p>	食料品製造業
	<p>コロナウイルス感染も縮小傾向、飲食店等もほぼ通常営業となり、売上の減少は軽微なものとなった。原油価格の大幅な上昇とウクライナ情勢による原材料不足等で、製造原価他コストが上昇し、事業活動がさらに苦しい状況となっている。9月初旬に大型台風が上陸し、米の一部品種が倒伏し収穫量が減少している。ロシアがウクライナに侵攻し7ヶ月が経過したが、全く終息する気配は無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。また、ウクライナは世界有数の穀倉地帯でもあるので、食料不足に伴う穀物価格も上昇している。政府の、原油価格の上昇に伴う損失補填も限界にきているようだが、更なる対策費の上乗せと食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要と思う。追って、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要となると思う。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>受注は良好だが、人材不足である。</p>	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	<p>組合としての活動は皆無。建築業者の方の話では、「土地でも持っていれば新築もあるが、リフォーム工事が少々あるだけ。」とのこと。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市

	当組合のコロナウイルスによる影響が出始めた時期は令和2年4月以降である。組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年11月に比べ20%の減少、コロナ禍の令和3年11月と比べ5%の増加だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している。価格変動が激しく毎月の仕入価格が変わるため、価格転嫁への対応が困難である。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	先月からの受注の減少は変わらず、設備操業度も低下し、パート従業員の仕事が減った。	印刷業 山口市
	全国旅行支援や各自治体による旅行支援政策により観光業界は盛況であるが、コロナ感染者はじわじわと増加しており第8波への懸念も払拭できない状況である。印刷業界も原材料の高騰による企業収益の悪化は続いており従来のビジネスモデルは通用しない時代となった。このような状況下、上部団体は「DXによる価値創出」をテーマに巨額を投じて基幹システムを構築し、全国の組合員に参加を呼び掛けているが現状はまだ浸透していない。	印刷業 下関市
窯業・ 土石製品	原材料の値上げ（セメント等）により、5%～25%と各種価格を見直したので、1月より値上げを実施する。	コンクリート製品製造業 防府市
	10月よりセメントの値上げが一斉に行われている。1t当たり三千円の値上げにより現在の設定価格より5%程度値上げをしないと採算が合わないが4か月前より継続している運賃、鋼材の値上価格も転嫁できていない状況に憤りを感じている。引き続き継続して値上説明を行うよう組合内で申し合わせている。	コンクリート製品製造業 柳井市
	出荷量は、前月比111%、前年同月比93%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。	生コンクリート製造業
	輸入製品の価格上昇に伴い、国産品との価格差が小さくなってきている。国産の石材をPRする事で、上質な製品の提供が出来るのではないだろうか。	石工品製造業
	11月の売上高は、小売は前年同月比で10%程度アップ。卸売は前年と変わらず。10月に引き続き全国旅行支援のクーポン利用者も多く、売上アップに寄与している。粘土以外の材料費・包装材・燃料代など昨年と比べ軒並みアップしている。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	11月は、9、10月と続いた周南コンビナートでの大型定修工事も落ち着き、比較的落ち着いている。地元での仕事量が少ないので、県外への仕事を受注し対応している企業も多い模様。これから、12月、1月と、当組合関係の業種は、閑散期に入るが、こういった時こそ、皆で情報交換しながら乗り切っていこうと思う。	一般機械器具製造業 下松市
	新型コロナウイルスに関しては、特に影響は無いが、エネルギーコスト高騰の影響は関連親会社を含め、相応の影響を受けている。	一般機械器具製造業 周南市

	<p>円安傾斜の状況の中、輸出産業はもう少しうれしい話が増えても良さそうな気がする。原材料の高騰が来期にも影響する勢いで続いており、価格転嫁に苦慮している。購入品の見積りから発注、納期に改善は無く、得意先との調整に苦労が続いている。人手不足は解消せず、外注を増やしていかざるを得ない。親会社の定期修理工事は終わったが関連工事ではまだ忙しい状況。一般的には景気がUPしているのか来年度の工事の見積依頼が数件来ている。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>世界的に新型コロナウイルスと経済との共存政策が進展することにより業況は回復基調にある。サプライチェーンの国内回帰もあり安定してきた。但し、中国のゼロコロナ政策による経済発展の減速がどの程度影響が出るか予断を許さない。また、急激な円安、ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高、資源不足は電気、ガス料金に留まらず、物価アップへの影響が大きく、生活のみならず、下請け中心の中小企業にとっては大きな経営負担となっている。外国人人材確保の面では、国内外の諸手続きが輻輳し遅れがあったが、ほぼ順調に動きだしている。しかしながら、日本の低賃金、急激な円安の影響は大きく、欧米、カナダ、台湾、韓国との人材確保競争は厳しいものがあり日本は脱落気味である。また、外国人技能実習生の最大の送り出し国であるベトナムの経済発展は著しく、人材の確保は今後困難になることが想定される。国内での競合も激しく都会の高賃金に対抗できず募集しても人が集まりにくい状況である。</p> <p>依然として厳しい状況に変わりはなく、体力勝負となっている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両関係は順調に推移している。半導体関係は、例年の2~3倍の受注量で引き続き好調に推移の見通し。従業員確保及び技能継承に苦労している。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>組合員による海苔、いりこの入出庫、在庫量については昨年同様であり、コロナ前とほぼ変わらない。組合員外の高産物原料の出庫が多いが、これは、受注が増加し加工後速やかに出荷されている模様のためである。倉庫としての売上はやや減少傾向であるが、高産物原料の入庫量増加を見込んでいる。</p>	乾物卸売業
	<p>好転的な要素は無い模様である。</p>	各種商品卸売業 防府市
	<p>コロナ感染者が若干増加傾向であるが、規制緩和により来客者が増加し、売上が増加している。</p>	各種商品卸売業 山口市
	<p>原材料、燃料、梱包資材等の値上げによる厳しい状況が続いており、今後の対策等を企業全体で検討している。</p>	各種商品卸売業 下関市

小売業	<p>新型コロナウイルスの影響がだんだんと現れ、山口方面の組合員の売上は前年比減少、下関方面の組合員でも年間売上が600万減少等もある模様。以前は助成金もあったが、今は非常に厳しい状況である。各メーカーは、来年、人の流れが増加してきたので、店頭での体験活動を通じて化粧品の魅力を伝える取組に力を入れる模様である。コロナ禍の3年間、肌に触れる活動から遠ざかっていたので、再度教育が必要な状況のようである。以前のように肌に触れる活動を増やし、お客との新たな絆作りを進めたお店が売上を伸ばすと思われる。</p>	化粧品小売業
	<p>11月も家電の売上は低迷。簡単なリフォームや工事の伴う照明器具、給湯（エコキュート）工事等で収益を確保している。売上は前年比95%位である。</p>	機械器具小売業
	<p>前年同月比約56%の売上減少。一部事業の廃止となったため売上は大幅減となっている。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>前年同月比売上は約9%増加。コロナ感染状況は依然高止まりを続けているが、全国旅行支援による客足の回復が見られ、県内外からの観光客を中心に売上を確保している状況。一方で、円安や物価高騰の影響により仕入原価・経費負担額が上昇しており、売上は増加傾向にあるものの、収益確保が困難になっている。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>11月の供給高は前年比105.9%、来店者数98.7%。食料危機を心配し家族1年分の食品を備蓄しているケースもある。店舗従業員の募集をしているが、応募がない。新人の雇用がない場合は、日曜日を店休にするしかない。</p>	各種商品小売業 下関市
商店街	<p>歳末商戦。各地でボーナス目当ての稼ぎが削られるが、消費先の多くがインターネットを介したECサイト、また仮想サービスに流れている現実が如実に表れている。従来型の消費は忘年会などの生活イベントだが、全国旅行支援による一部の恩恵を除くと、依然として厳しい状況が続いている。大人数の宴会は望めぬことから、収益の悪化が著しい。コロナ時代、ネット時代、Z世代の新しいサービスや商売をゼロベースで構築していくことが求められる。昭和から平成当時に確立された商売の方法を焼き直したのでは、ゴールを見誤る。</p>	岩国市
	<p>年末が近づき人流も少しずつ回復しているように思うが、コロナ第8波の状況に若干の不安を覚える。</p>	宇部市
	<p>新型コロナウイルスの影響により生活様式が変化し、商店街も来客者数が減少。ある玩具店も売上が減少している。前年も悪かったがそれよりも20%程度減少している状況。売上の減少と後継者不足で12月までに3店舗が閉店する予定。</p>	萩市
	<p>11月のプレミアム商品券販売は、ありがたいことに前年同様長蛇の列でお客様に喜んでもらった。早速、お買い物をしてもらい、販促につながっ</p>	下関市

	た。	
サービス業	新型コロナウイルスと共存することで、ワールドカップも開催されたように外国人の往来も自由となった。コロナ罹患者も増えたり減ったりだが、美容業界は現状維持の状況である。	美容業
	気温差等で来店サイクルが長くなりつつある。コロナ第8波、インフルエンザとの同時流行も気になる。	理容業
	「インボイス制度」がスタートすることで、小規模な自動車整備工場が廃業を余儀なくされるのではないかと心配している。税理士と契約している事業者は、アドバイスを受けていると思われるが、家族が経理全般を行っているところが少なくないなかで、インボイスを理解していないところも多く、当組合としても事業者の実態を把握して適切な対応ができればよいが、一步踏み込むことが中々難しい状況で、研修会等を開催して周知する程度にとどまり頭を抱えている。	自動車整備業
	会費の値上げで売上高は少し上がったが、電力の値上げが異常で会費の値上げをしても追いつかない。	スポーツ・健康教授業
	売上はコロナ前にもどりつつあるが、材料費の高騰により収益状況が厳しい事業所がある。今後秋の繁忙期後の通常期での資金繰りが厳しいことが予想される。	普通洗濯業
	団体の予約やコンパニオンのご依頼もある。コロナ前までは中々戻らないが、それでも湯田温泉全体に活気がある。	飲食業
	全国旅行支援の恩恵がいくらかあった模様。	旅行業
	売上、宿泊人員とも県民割等の施策により前年同月比は大幅増となったが、コロナ前2019年の売上同月比で99.0%、宿泊人員は103.8%とほぼ回復した。全国割プラスも12/27宿泊まで延長となり12月もコロナ前と同水準で推移するものと思われる。しかしながら、従業員の確保が困難な状況下で宿泊者の更なる受入に支障がでる可能性も危惧される。	旅館業 山口市
	売上高は前年比変わらず。秋頃から電気代、燃料費の異常な高騰により資金繰りが非常に厳しい状況。電気代は節約している。燃料調整額が10倍以上になっており、重油、灯油等の採算があう設定金額を大幅に超え、下がる傾向にない。今後の経営に大きく影響する。	旅館業 長門市
稼働率90%を超えている施設も多い。その内、全国旅行支援割の利用者は約40~60%である。コロナ前の状況を超えている施設も多く、12月分についても順調に予約が入っている模様である。	旅館業 下関市	
建設業	中電への工事申請181件(当支部145件)、前年同月219件(同168件)。太陽光発電への申請48件(前年50件)、オール電化申請96件(前年65件)。LED街路灯への切り替え・新設申請32件(前年12	電気工事業

	件)であった。	
	手持ち工事量は一年前から回復しており、実質の工事量も今秋から前年同月比を上回るようになってきたが、まだ力強さに欠ける。原材料費は大きく値上がりしているが、労務費は技能者不足の中でもあまり回復していない。	左官工事業
	10月よりも官公需の入札数は少なかった。民需の住宅関連は、あちらこちらで整地が見られ、令和5年1月からの仕事に期待をしている。依然として人手不足は解消できていないが、ウイズコロナで組合員同士が協力し合い仕事をしている。	管工事業
	物価が軒並み高騰、光熱費は高止まり、生活必需品が値上がりし、生活防衛をいかに考えるか、庶民を悩ませている。値上げに対する防衛策として、家電製品やその他の高額商品は買い控えする等、こうした連鎖が景気の停滞、さらに沈滞を生む。街も賑わいに欠ける。政府が企業経営者に、賃上げを要請するというが、先の読めない混迷、混沌とした経済下で、従う経営者は少ないと思われる。建設業界は、資材の高騰が続き、作業員の賃上げへの余力に欠けている。	一般土木工事業 柳井市
	11月の受注高は、対前年同月比 116.3%。今年度の累計では、対前年比 87.5%。	一般土木工事業 萩市
	11月末の長門地区公共事業受注高は、例年の約6割となっており、今後の発注に期待している。燃料費、生コンクリート、アスファルト、鋼材、木材等の建設資材単価が高騰しており、収益への影響が心配される。	一般土木工事業 長門市
	地元案件が非常に小規模で新築工事より改修工事が多い。同業者の手伝いで工場稼働率を確保している。鋼材、副資材、ガス、電力の価格高騰によりコスト管理が一層厳しく、何とか価格転嫁したいと思っている。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係は下降の一途で対前年比7%弱の減少。ウクライナ情勢に大きく左右されており、貨物船の入港が日延べとなり、大型車両による輸送がなくなり休業となった。燃料関係は、前月と同額だが、軽油引取税を考慮してほしいとの声が多い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	自動車関連の組合輸送取扱高は前年並みとなった。しかしながら、依然として半導体他の部品調達難が続いており、コロナ前の水準には遠く及ばない状況である。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運輸に関しては、軽油をはじめ様々なものが値上がりしており、収益に影響を及ぼしている。物量はこれから年末年始にかけて季節ものなどの荷動き・保管が増えそうである。製造関係のお客様の保管案件が増えており、倉庫作業員の増員を行っているが、このところは順調に採用できている。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+7.4%（令和4年10月1日～令和4年11月20日分）だった。10月1日～31日分は+11.4%、11月1日～20日分は+1.4%。前々年度比では、それぞれ+1.8%、▲1.5%、+7.5%になった。前々年度は新型コロナウイルスの影響で大幅な増減があったが、規制が緩和しコロナ以前の増減傾向になってきた。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。10月分については、周南+13.0%、下松+31.0%、光+19.1%、防府市地区が▲5.4%で、組合員の全域では+11.2%、地区外（員外）+13.3%、合計+11.4%(+1,407千円)。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPは減少した。（前月595\$/トンが今月585\$/トン、前年812.5\$/トン）、フレート（輸送）コストは増加（前月10,000円/トンが今月11,400円/トン）した。為替が円安（前月144.09円/\$が148.19円/\$）のため、燃料単価は前月より+3.2%上がった。前年高騰していたので前年11月比は▲3.2%だが、依然として厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。ウイズコロナで、規制が緩くなって、需要が回復傾向にあるが、まだコロナ前（令和元年度以前）の需要の▲35%付近であり、諸物価、経費が増加する中、たいへん厳しい経営状況の様様。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
	<p>取扱高は対前年比で減少中である。12月も減少傾向が続くと思われる。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>新型コロナウイルスの再燃で介護施設の面会謝絶が再開し、クラスターの懸念で家族やケアマネジャーでさえ入れない施設もある状況。反面、先を見据えた動きもあり、送出し機関と協力して会場・オンラインでの研修会を開催、外国人技能実習生の受入れに関して前向きな感触を得た。今後の需要拡大に向けて外国人技能実習制度の認知度を更に上げていきたい。</p>	<p>介護事業</p>